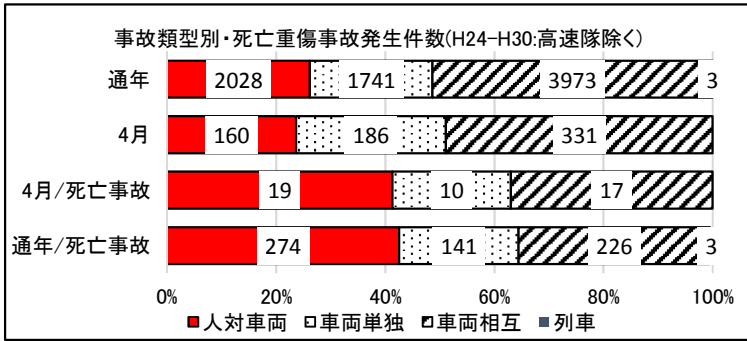


交通死亡事故抑止対策 インフォメーション

県内で発生した交通死亡・重傷事故の過去7年間(平成24年～平成30年)のデータを活用して、各月の死亡・重傷事故の特徴や死亡事故多発日・時間帯などについて分析した結果です。

○ 4月の死亡・重傷事故の特徴について 『車両相互』、『車両単独』事故が増加！『横断中の高齢者対策』も忘れずに！

春の訪れとともに4月は県内の死亡・重傷事故件数がさらに増加傾向を示します。事故類型別では「車両相互」、「車両単独」による事故が増加し、特に「車両単独」事故は3月に比べ約2倍となります。二輪車や自転車による事故の増加が原因と考えます。「道路横断中」と、自動車同士又は自動車×自転車の出会い頭等による「車両相互」事故による高齢死者が多くなっています。



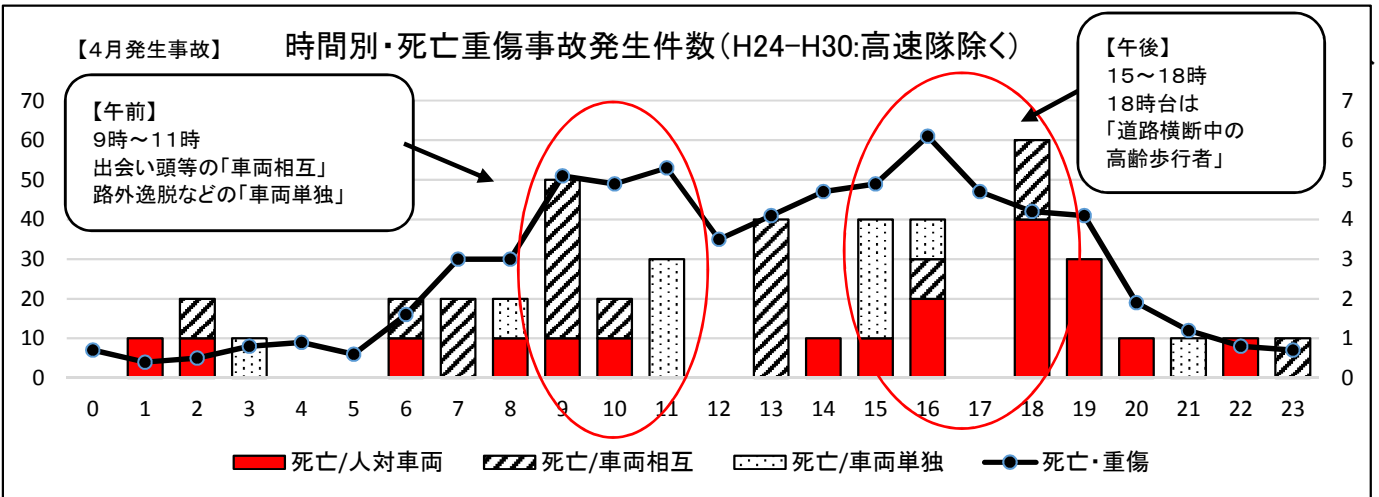
【状態別死者数】 --- ()内は内数で高齢者

状態別死者数	4月の死者	車両相互	車両単独
自動車※	17 (9)	11 (8)	6 (1)
特殊車	1 (1)	0 (0)	1 (1)
二輪車	5 (3)	2 (1)	3 (2)
自転車	5 (4)	5 (4)	0 (0)
歩行者	19 (15)		
計	47 (32)	18 (13)	10 (4)

※「車両相互」で1件2名が1件

	人対車両	横断中	対面・背面通行	横臥・佇立
	19 (15)	13 (11)	2 (2)	4 (2)

死亡・重傷事故の2つの多発時間帯に注意！



『12日』と『30日』を死亡事故警戒強化日とします！

4月の死亡・重傷事故は、5日～7日、12日～15日、23日～24日、そしてゴールデンウィークの28日～30日の月末に多発する傾向がみられます。

新入学児童・生徒や新社会人、転勤者など、新しい環境になじみ始めると同時に緊張感が緩む中旬、そして10連休が始まる月末は、特に、注意していただき、ご家族や会社内等において本インフォメーションを参考に情報共有をお願いします。

